

グリーンニューディール基金について

【担当省庁】環境省

京都府では、京都議定書誕生の地として、持続可能な社会の実現に向けて先導的な役割を果たしていくため、平成 21 年度から地域グリーンニューディール基金を活用して、地球温暖化対策をはじめとした環境問題の解決に向けて取り組んできたところです。

また、平成 22 年度に京都府環境基本計画を策定し、温室効果ガスの排出量が 80%削減された「低炭素社会」の実現をはじめ、京都府の目指すべき環境像・社会像の実現に向けて施策を展開しておりますので、京都府が行う取組に対し、予算を配分いただきますようお願いいたします。

環境省の概算要求

再生可能エネルギー等導入推進基金事業 236 億円

グリーンニューディール基金制度を活用して、防災拠点や災害時に機能を保持すべき公共施設や民間施設に、再生可能エネルギーや蓄電池、未利用エネルギーを活用した自立分散型エネルギーを導入することにより、災害時においても地域ごとに最低限の都市機能等を保持できる「災害に強く環境負荷の小さい地域づくり」を支援



京都府からの要望

再生可能エネルギー導入の推進に係る予算措置

京都府においては、地球温暖化対策条例に掲げた温室効果ガスの削減目標（平成 32 年度に平成 2 年度比 25%削減）達成に向け、東日本大震災による影響も踏まえ、再生可能エネルギー導入やエネルギーの効率的な利用対策を進めております。

つきましては、「再生可能エネルギー等導入推進基金事業」による予算の配分とともに、対象施設の整備については、再生可能エネルギー等の導入だけでなく、施設における省エネ設備改修や燃料電池導入なども含めた支援を要望します。

1 現在の基金活用メニュー（平成 23 年度まで）

<地球温暖化対策として実施した事業>

①公共施設省エネ・グリーン化推進事業

- 太陽光発電等活用地域エコ活動支援事業
- おひさまエコタウン応援事業
- エコ防犯ソーラーライト整備事業
- 府庁CO₂ 3.0%削減推進費
- 府庁エコオフィスLED導入モデル事業
- 府庁節電対策事業費（与謝の海病院の照明LED化）
- けいはんなエコシティ環境未来都市創造事業
- エコロード整備事業
- 北山文化環境ゾーンエコ路地
- マイクロ水力発電によるむらづくりモデル事業

②民間施設省エネ・グリーン化推進事業

- 事業者CO₂削減対策事業
- 地域における省エネ・グリーン化対策緊急支援事業（民間施設）
- グリーンイノベーションパーク（植物工場）

③地域環境整備支援事業

- 京都EVネットワーク整備事業
- けいはんなエコシティ次世代戦略推進事業

2 予算配分の要望

◇府立体育館整備への基金充当

- ・ 本府において、平成 24 年度に府立体育館の全面的改修を計画しているが、その中で災害時の備えとして、太陽光発電の整備も盛り込んでおり、本基金を充当したい。

◇医療・福祉施設における太陽光発電装置等導入への基金充当

- ・ 東日本大震災では、広範囲で停電が発生し、特に、医療・福祉施設における電源の確保が大きな課題となったところである。このため、社会的弱者を守る観点からも、医療・福祉施設への太陽光発電装置及び蓄電池等の導入について、本基金を充当したい。

【京都府の担当部局】

文化環境部 環境政策課	075-414-4703
地球温暖化対策課	075-414-4708